

## 恋の津軽十三湖 歌謡碑除幕式

昨年制作の大型立佞武多「津軽十三浦伝説・白髭水と夫婦梵鐘」と同じく、300年前に十三湖に沈んだ梵鐘と市内飯詰「長円寺」に納められている梵鐘にまつわる伝説をモチーフにした歌手・長山洋子さんが唄う「恋の津軽十三湖」の歌謡碑が、十三湖湖岸（中の島遊歩道橋たもと）に完成しました。

歌謡碑は、高さ約2m、横幅約3mの御影石製で、歌詞や由来の伝説が刻まれており、当市出身の山田春雄氏からの寄付で建立されました。



除幕式の様子



建造された歌謡碑の前で  
記念撮影をする出席者の皆さん

8月3日、山田春雄氏、作詞家の宮内たけし氏、作曲家の平川竜城氏のほか、関係者約50人の出席のもと除幕式が行われ、歌謡碑の前で長山さんが曲を披露されました。

数多くの方がこの歌謡碑を訪れ「恋の津軽十三湖」とともに、長円寺の梵鐘と歌謡碑が末永く愛されることを期待しています。

## 梅沢富美男氏 立佞武多で花魁道中



市役所を訪れた梅沢さん

8月8日、五所川原立佞武多最終日には花魁に扮した梅沢さんが、立佞武多運営委員会名誉大会長の平山市長らとともに隊列の先頭で花魁道中を披露しました。

事前に新作立佞武多の紙貼り体験にも参加していた梅沢さんは「紙貼りをした際には出雲阿国が題材だということは知らなかった。私たち役者の先祖とも言えるテーマの立佞武多と一緒に祭りに参加することに運命を感じる。私も家族も祭り本番を楽しみにしている」と話しました。

10月25日にふるさと交流圏民センターオルテンシア大ホールにて開催される「まちなか五所川原2周年記念チャリティー公演 梅沢富美男劇団五所川原特別公演」のPRを兼ねて、歌手・俳優・テレビタレントとして活躍する梅沢富美男さんが、7月29日、市役所を訪れました。

当日、テレビ番組の収録で県内各地を移動していた梅沢さんは「テレビのPR効果は計り知れないものがある。たくさんの番組を五所川原に連れてきて、色んなものを紹介したい。その際は、市の皆さんにも是非協力してほしい」と話しました。



祭り最終日を彩る花魁道中